

令和5年度(今年度)の県立高校入試の変更点について

今年度の沖縄県立高等学校の入試の変更点について、お知らせ致します。3年生の生徒のみなさん、保護者の皆様は必ずご確認ください。また、高校入試に関する詳しい内容については、10/21(金)に予定している親子進路学習会にてご説明させていただきます。併せて、裏面には体験入学や学校訪問、学校説明会に参加した生徒の感想を一部抜粋し、掲載していますので是非、ご覧下さい。

* 令和5年度県立学校入学者選抜実施要項(昨年度からの変更点について)

1. 日程について

高校入試 R5 3/8(水)・3/9(木) → R5 3/7(火)・3/8(水) に変更

追検査 R5 3/22(水)・3/23(木) に変更

2. 入学定員について

西原 ・普通文理コース 4クラス → 5クラス(1増加) ・健康科学 2クラス → 1クラス(減少)

浦工 ・建築科1クラス新設 ・インテリア科 2クラス → 1クラス(減少)

那商 ・商業科 4クラス → 5クラス(1増加) ・会計科 2クラス(減)募集停止

那工 ・機械科 2クラス → 1クラス(減少)

3. 通学区域について

真和志 普通 クリエイティブアーツ → 県全域

小禄 普通 芸術教養コース → 県全域

4. 出願手続き等について

第2志望は志願状況に関わらず、志願変更可能(取消や追加も含む)

第2次募集の出願手続きに特別支援学校も併願できる



～推薦入試から特色選抜へ～

令和7年度(現一年生対象)より、現行の推薦入試が「特色選抜」へ変わります。ポイントは…

- ①学校推薦ではなく、生徒自ら出願できる。
- ②学力検査を受検する。
- ③現行の推薦入試同様、最大2校へ出願する機会を確保する。

※詳細については、本校 HP に掲載しております。特に制度がスタートする1年生・保護者の皆様はご一読下さい。

～体験入学・学校訪問・学校説明会へ参加した感想～

3年 男子(訪問先:那覇国際高校)

那覇国際高校の学校訪問を経て、まず校舎の形に驚きました。今まで私が見てきた学校とはその構造が異なり、一瞬迷うかと思いました。また、授業においても、例えば国語でも現代語と古典などで多くの種類があり、部活動でも計40種類超えと文武両道で楽しそうだという印象を強く受けました。

3年 女子(訪問先:那覇国際高校)

那覇国際高校に行って感じたことは、「ああやっぱりこの高校に行きたい。」です。講座が充実していることや校舎がスタイリッシュなこと、資料が豊富なこと等、理由をあげたらたくさんありますが、一番の理由は那覇国際高校の先輩方の顔がキラキラしていたことです。とても表情や雰囲気明るくて、その顔を見ると充実していることが伝わってきました。

3年 男子(訪問先:西原高校)

西原高校の授業は、とてもにぎやかで参加しやすく、緊張が勝手にほぐれていくほど、とても良い雰囲気だと感じた。しかも、西原高校の先生方は対応が丁寧で優しく、とても良い学校で入りやすい環境だと感じた。

3年 女子(訪問先:那覇商業高校)

那覇商業高校にはあまり興味が無かったけど、それぞれの学科の説明や体験を通して、先輩達はとても楽しそうに過ごしていたので良いなと思いました。また、普通科を希望している私からしたら、色々な高校卒業後の選択があるので、それはそれで良い方法だと思いました。それぞれの学科に様々な魅力があり、体験入学に行ったら良かったと思えました。

3年 男子(訪問先:沖縄工業高校)

今回の学科は、電気系を中心に勉強する学科だったが、メカニズムや回路作り、信号など気になる所がたくさんあり、入ってみたいと思った。一番気になっていた部活では、近代スポーツから文化まで多種多様な部活があり、進学の特長を見出せた。

3年 女子(訪問先:首里高校)

首里高校の先生が、学校説明会に参加しているのは約500名と言っていて、首里高の定員は合わせて400名なので、約100名が受検に落ちると考えると、受検の怖さというのがやっと実感できた感じがしました。また、4月に入学して6月には2年になるときの理系か文系かというのを決めると言っていたので、合格して入学が決まったら、高校卒業後の進路もある程度考えとかなないといけなことにビックリしました。



学力検査等に際しての配慮について

視覚・聴覚・学習障がい、肢体不自由、病弱・心因性、緘黙、外国籍等、特別な配慮が必要な場合、学力検査等に際して以下の様式を提出することが可能です。

- ・「障がいのある生徒の学力検査に際しての配慮願い書」(参考様式1)
- ・「学力検査等に際しての配慮願い書」(参考様式2)

提出や詳細については、**9月内**に学級担任または進路担当にご相談下さい。